

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日:2022年5月15日

所属学部／研究科・学科／専攻	理工学部建築学科
留学先国	カナダ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ヨーク大学 現地言語: York University
留学期間	2022年1月～2022年5月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	Faculty of Environmental & Urban Change <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年5月2日
明治大学卒業予定年	2023年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月上旬～12月下旬 2学期:1月上旬～4月下旬 3学期:5月中旬～8月中旬 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	53,000
創立年	1959

留学費用項目	現地通貨 (\$ CAD/ カナダドル)	円	備考
授業料	\$0 CAD	0円	交換留学のため授業料は不要
宿舍費	\$4183.50 CAD	418,350円	4ヶ月分の寮費
食費	\$3,000 CAD	300,000円	4ヶ月分の meal plan(\$2,000 CAD)を含む
図書費	\$0 CAD	0円	授業資料はインターネットでダウンロード可
学用品費	\$7.00 CAD	700円	ノート購入
携帯・インターネット費	\$156.61 CAD	15,661円	プリペイド式携帯電話と sim カード
現地交通費	\$180 CAD	18,000円	ダウンタウンに行く際に地下鉄を利用。uber を使う機会もあった。s 大学内に滞在していたため通学は徒歩。 (<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	\$700 CAD	70,000円	国内旅行(montreal)などを含む
被服費	\$450 CAD	45,000円	大学パーカーなど購入
医療費	\$0 CAD	0円	
保険費	\$252 CAD	25,200円	形態:UHIP(加入必須の保険)
渡航旅費	\$1811.50 CAD	181,150円	東京ートロント間往復
ビザ申請費	\$7.00 CAD	700円	観光ビザ(ETA)
雑費	\$120 CAD	12,000円	布団や洗剤などの日用品
その他	\$15 CAD	1500円	gym 契約費
その他	\$275 CAD	27,500円	美容院、メイク用品
合計	\$11,157.61 CAD	1,115,761円	1CAD=100円として計算

渡航関連

渡航経路
往路 出発地:成田空港 目的地:トロントピアソン国際空港 経由地:バンクーバー 復路 出発地:トロントピアソン国際空港 目的地:成田空港 経由地:バンクーバー
渡航費用
①往復チケットを購入した場合 航空会社:Air CANADA 料金:181,150 円 ②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:Expedia) <input type="checkbox"/> その他()

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:Winters Residence) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
4)住居を探した方法:
大学のメールを通して寮を探すことができます。
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
Winters Residence は4階建ての寮で、エレベーターがないなど他の寮に比べると少し古い建物かもしれませんが、コロナの影響もあって、イベントがあまりなかったので寮内の友達を作るのは少し難しかったです。しかし、設備としてはシャワーやトイレなどは綺麗で、快適に過ごせました。カフェテリアなどもすぐ行けるので生活に不便はしなかったです。セキュリティもしっかりしていて、安心して過ごせると思います。キッチンがないので、自炊はできません。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所:自部屋療養)
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等:)
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
トロントは治安がよかったので、あまり危険情報に触れる機会はありませんでした。近くで銃の発砲事件が起こった時は、友人から詳しい情報をもらいました。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
不安定な時もありましたが、基本的に大学内はどこでも wifi が繋がります。街中でも café や restaurant など wifi が使える場所が多いので、困らないと思います。地下鉄内はインターネット接続が切れるので注意が必要です。
5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
現地では基本的にカードで生活していました。現金が必要な時は、VISA のクレジットカードからキャッシングしました。
6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。
インスタント味噌汁。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか? あり	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Canadian language and culture	カナダの言語と文化
科目設置学部・研究科	Department of Languages, Literatures & Linguistics
履修期間	Fall / Winter
単位数	6.00
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	リモート(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Gillian E. Beresford
授業内容	生徒が全員留学生なので、assignment の書き方や、presentation の練習など基本的なことが学べる。基本は、ディスカッションがメインで multiculturalism が国の統一性に与える影響や、Indigenous people などの先住民族について議論した。
試験・課題など	授業は予習が前提で進められる。課題は reading や video を見て study sheet を書く形。課題は少なくはないが負担になる量ではないと感じた。中間試験と期末試験がそれぞれあるが、出席点が大きいため授業に出ることが大切。また、winter semester では presentation があり私は3人グループで gender pronounce について発表した。
感想を自由記入	Fall semester からオンライン授業として受けた。対面よりプレッシャーが少なく受けやすい印象があった。ただ全員留学生といっても、生徒はとても積極的で、それぞれが自分の意見をしっかり持っている印象を受けた。カナダの特異とも言える文化が形成された背景を知るという面で、とても面白い授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Reading Landscapes Through Time	時代を超えた風景読解
科目設置学部・研究科	Faculty of Environmental and Urban Change
履修期間	Winter
単位数	3.00
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	Richard B Anderson
授業内容	文化的な風景は時代の経過と共に変化する。これには法的権利の変化、文化的適応、経済基盤の変化の他に歴史的出来事などから生じる。様々な国の風景の変化を時代とともに考察する授業。
試験・課題など	Assignment の提出が3回。期末試験(writing)。

感想を自由記入	授業はレクチャー形式で 3 時間休憩なしなので少しきつかった部分はあった。風景から文化や歴史を読み取っていくという視点は新鮮で面白かった。reading house というレクチャーは改めて家の価値に気づける面白い授業だった。
---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Urban Design : Critical Issues in Shaping Urban Space	都市デザイン入門 : 都市空間を形成するための重要な問題
科目設置学部・研究科	Department of Social Science
履修期間	Winter
単位数	3.00
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、リユートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回
担当教授	Blair Scorgie
授業内容	アーバンデザインとは、都市空間を意図的に形成することであると考え、世界中の都市地域の事例を批判的に検討していく。グループワークでは、トロント内で一つの場所を決め、その場所について分析していき問題点を見つけ、最終プレゼンテーションでは自分たちの提案も含めて発表する。時間外に zoom でチームメンバーと会議を行なったりした。
試験・課題など	基本的にグループ学習。中間レポートの提出と最終プレゼンテーション。課題は毎週たくさんの reading が出題され、それを元に授業が進んでいく。
感想を自由記入	私的に一番面白くて、一番苦労した授業だった。授業は30人くらいで3~5人グループを組み、全ての作業をこのグループで行った。留学生は私だけで、苦労することも多く同じグループの人には本当に助けてもらった。この授業で、わからないことをしっかり聞くことの重要性和プレゼンテーションを成し遂げた達成感を知ることができた。また、トロントという都市の特徴を知るいい授業であった。先生は、この授業を受けるか迷っていて相談した時、全力でサポートはするよと声をかけてくれて、とても優しくかった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input type="checkbox"/> 就職 <input checked="" type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。
明治大学院(I-AUD)
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。 内部進学のための資料などはしっかり確認しておくといと思います。また, 日本にいる同じ研究室のメンバーに情報を随時伝えてもらうようにしていました。
7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	IELTS の勉強。
	8月～9月	IELTS テスト受験。スコア獲得。
	10月～12月	交換留学出願、選考。
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	コロナにより秋学期の渡航中止が決定。
	8月～9月	夏休みに York University の英語プログラムを受講。日本で明治大学の授業を受けたが、オンライン留学を開始
	10月～12月	ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保。
留学/帰国年	1月～3月	明治大学後期終了。渡航・留学先での対面授業開始。
	4月～7月	期末試験。帰国。
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

大学入学時から留学に行きたいと思ってはいましたが、1年生の頃は口に出すだけで、具体的に行動はしていませんでした。大学2年生になる年に、コロナが起き自分が大学生活で何をしたいかを見つめ直した時、『留学』という言葉が浮かびました。学部がら学部生で周りに留学を目指す人や経験者の先輩がおらず情報収集にはとても苦労しました。また、留学に申し込もうと決めた時は、語学の勉強、留学計画書、建築学科の課題、サークル、バイトと本当に忙しかったです。それに加え、学内選考時もコロナの影響で本当に渡航できるかはわからない状況でした。留学が決まってからも渡航できるかわからない日々が続き、毎日外務省のホームページを確認するなど、精神的にも辛い時期が続きました。その後、秋学期中は渡航ができないことが決まり、9月からは明治大学の授業を受けながらオンライン留学をし、渡航ができる日を待つという選択をしました。オンラインでの留学はやりにくい部分は多くありますが、渡航費がかからず学べるというメリットはあるかもしれません。ただ、授業数をあまり取っていなかったことに加え、明治大学の授業をしっかりと取っていたため留学しているという感覚はなかったです。1月から渡航が可能になり、カナダでの留学生生活を開始しました。カナダの冬は思った以上に寒かったですし、最初の頃はロックダウンで思うように行動できない日々が続きもどかしい思いをしました。また、授業では発言の機会があるにもかかわらず自分の意見や英語力に自信が持てないことで、逃げる方法を探していたような気がします。授業に自信を持って参加できるように、予習をしっかりとすることに加え、自分が言いたいことリストを授業前に作ってのぞむようにしました。また、グループワークでは積極的にわからないことは聞くようにしました。2つの授業で最終プレゼンテーションがあったのですが、先生に「あなたの言ったこの言葉はすごい重要なことだし、良いプレゼンだったよ。」と言ってもらったことが少し自信につながりました。正直留学を終えた今でも自分の英語力はまだまだで、これからも勉強を続けていかなければとは思いますが、英語を話すということへの恐怖心は全くなくなりましたし、バックボーンの違う人と話し文化を共有した経験は自分の中でとても大きいものになっています。英語を話す環境にいと、英語で考えるという癖がつき、英語で会話することが自然になります。この経験ができただけでも、実際に現地へ行くという留学ができてよかったなと思います。また、滞在中できた友達と旅行に出かけたこともとてもいい思い出になっています。

留学前・中と辛いことや大変なことはたくさんありましたが、結果的に全て自分で調べて準備したこと、全て手を抜かずに頑張ったことはとても自分のためになったかなと思います。私の経験を聞いて大変そうと思う方もいるかもしれませんが、やってみれば誰でもできます。経験“する”と“しない”という間には大きな壁があると感じていて、経験してみると「意外とこんなもんか」と感じることもあると思います。私は、英語が得意ではなかったですし、今までの留学生の方より英語に触れてきた機会は少ないと感じます。そんな私でも留学生として選んでもらえました。大切なのはどうしてもここで、この大学で学びたいことがあると示すことです。York Universityは本当にいろんな国から留学生が来ていて、授業も多く学びたいことが学べる場所だと思います。私の場合、カナダという多文化主義国家で暮らしたことで自分の価値観が大きく変わりました。キャンパスも日本の大学と違い広大で、楽しい留学生活を送れると思います。何を学びたくてここに行きたいのかを明確に持つてください。また、語学の勉強は怠らず上を目指して常に勉強してください！！私も大学院でまた、留学に挑戦したいと思っているのでこれからも勉強を続けていきます。

最後に、留学すると素晴らしい仲間に出会えるし、自分の視野、世界が広がります。私は、カナダで多くの仲間に出会いました。彼らとは育ってきたバックグラウンドは違いますが、カルチャーの違いを話すだけで新たな発見が生まれるし、彼らの夢ややりたいことを聞くことで自分の刺激にもなります。もし、迷っているなら絶対挑戦してみるべきです。ぜひ悩むより行動してください！！応援しています！！何かあれば相談に乗るので気軽に連絡してくださいね。